

I 概況

1 内政

(1) 閣僚評議会で自動車の輸入及び流通に関する新たな政策の導入が決定され、運輸省発行の許可証を取得することなく車両を購入することができることになった。

(2) フィデル・カストロ前国家評議会議長の論考が当地紙グランマ等に掲載された。

(3) 人民権力全国議会第8立法期第2回通常議会が開催され、ラウル・カストロ国家評議会議長が演説を行った。

2 外交

(1) ロドリゲス外務大臣がアフリカ諸国を訪問した。

(2) ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典の場で、ラウル・カストロ国家評議会議長とオバマ大統領が握手を行った。

(3) ロシアの対キューバ債権の90%を帳消しにする合意が、ロシアとキューバの間で署名された。

(4) ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典に出席するために南アを訪問したラウル・カストロ国家評議会議長は、ズマ大統領と会談を行った。

(5) マドゥーロ・ベネズエラ大統領がキューバを訪問し、ラウル・カストロ国家評議会議長及びフィデル・カストロ前国家評議会議長と会談を行った。

II 内政

1 自動車の小売り販売

18日に開催された閣僚評議会で、自動車の輸入及び流通に関する新たな政策を導入することが決定された。それにより、現在車両を購入する際には運輸省が発行する許可証の取得が必要であるが、今後右許可証の取得は不要となる。その結果、車両の小売り販売が自由化されることになるが、この自由販売に関する措置は、段階的かつ漸進的に実施される。また、今次措置によって得られる収入によって、キューバ全国における公共交通の発展に充てられる基金が創設される。

2 フィデル前議長の論考の掲載

19日付当地紙グランマ等に、「マンデラは死んだ。なぜアパルトヘイトの真実を隠すのか」と題されたフィデル・カストロ前国家評議会議長の論考が掲載された。本論考の中で、ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典でのオバマ大統領とラウル・カストロ国家評議会議長の握手に言及し、ラウル議長を賞賛した。

3 人民権力全国議会第8立法期第2回通常議会の開催

(1) 20日及び21日、人民権力全国議会第8立法期第2回通常議会が開催され、新労働法案に関する分析及び同法案の可決、経済社会政策方針の進捗状況、2013年経済計画及び2013年国家予算の執行状況、2014年経済計画及び同国家予算法に関する審議とその可決が主な議題となった。

(2) 人民権力全国議会第8立法期第2回通常議会開会中に報告又は決定された主な事項

ア 2013年の経済成長率は2.7%の見込みであり、2014年は2.2%の経済成長率が見込まれている。

イ 砂糖、農牧畜産業及びホテル・レストランについては対前年比増の見通し。

ウ 2014年予算は、純収入432億5,800万ペソ、総支出471億4,800万ペソであり、38億9千万ペソの赤字予算(GDPの4.7%相当)。赤字分は、キューバ中央銀行による増刷と、国債の発行でカバーする。

エ 経済社会政策方針を履行するため、現在、キューバの経済社会モデルのコンセプト化に係る素案作成作業が取り進められている。

オ 通貨統一については、最終的にはキューバの通貨は、キューバ・ペソ(CUP)に統一するが、二重通貨システムが解消されても、CUCの購買力は失われない。

カ これまで270の非農業分野の協同組合が承認され、更に、228が承認プロセスにある。

キ 2012年の平均寿命は77.9歳、60歳以上の高齢者は人口の18.3%。その数値は2030年に30%、2050年には36%に達することが予想されており、現在の諸条件が維持される場合、2026年に人口の自然減が始まる。

ク キューバは現在、5万6,600人の医師がいる他に、外国で勤務する医師が2万1千人いる。

(3) ラウル・カストロ国家評議会議長が演説を行い、2013年のキューバ経済及び2014年の経済の見通し、経済社会政策方針の実施や外交課題等に言及した。

III 外交

1 ロドリゲス外相のアフリカ諸国訪問

ロドリゲス外務大臣は11月末から12月初頭にかけてエチオピア・セーシェル・南アフリカ・ジンバブエ・アンゴラを訪問し、11月27日にジェームス・ミッシェル・セーシェル大統領と、29日にロバート・ムガベ・ジンバブエ大統領と、12月4日にマヌエル・ヴィセンテ・アンゴラ副大統領と会談した。

2 アラン・グロス氏問題に関するケリー国務長官の発言

3日、ブリュッセルのNATO本部での記者会見において、ケリー国務長官は、アラン・グロス氏の問題について現在議論を行っているところであるが、その議論の詳細については私は一切言及することができない、と述べた。

3 「5人の英雄」に関するキューバ外務省米国局長声明の発出

4日、ホセフィナ・ビダル・キューバ外務省米国局長による声明が当地紙グランマに掲載された。その中で、「5人の英雄」とアラン・グロス氏問題の解決を得るための対話に向けた用意があることが表明された。

4 米国における領事サービスの再開

6日、M&T銀行は、在ワシントン・キューバ利益代表部の口座の最終閉鎖を2014年3月1日まで延長し、同年2月17日まで領事サービスに関する預金を受け入れるとの決定を行った。それを受け、キューバ利益代表部は領事サービスを再開した。

5 ラウル議長とオバマ大統領の握手

10日、ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典に出席したラウル・カストロ国家評議会議長が、同じく同式典に出席していたオバマ米大統領と握手を行った。このことについて、ラウル議長はインタビューにおいて、「普通のことである。我々は、文明人なのだから。」と応えた。一方、米大統領府は、今回の握手は事前に予定されていたものではなかったことを明らかにした。

6 ロシアの対キューバ債権放棄

10日、旧ソ連時代のロシアの対キューバ債権の90%を帳消しにする合意にロシアとキューバが署名したと報じられた。この合意により、キューバは10年間で32億ドルを支払う代わりに、200億ドルに加え利子の支払いを免除される。

7 EU・キューバ間の協定の締結に向けたEUの交渉マンデート付与の延期

12日、当初16日に開催されるEU外相理事会で決定されると見込まれていたEU・キューバ間の協定を交渉するマンデートの承認が2014年始めまで延期されることになったと報じられた。

8 ラウル議長とズマ大統領の会談

ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典に出席するために南アを訪問したラウル・カストロ国家評議会議長は、12日、ズマ大統領と会談を行い、キューバと南ア及びカリブ地域とアフリカの友好関係等につき意見交換した。

9 フィデル前議長とイグナシオ・ラモネ氏の懇談

13日、フィデル・カストロ前国家評議会議長は、作家・ジャーナリストであるイグナシオ・ラモネ氏と懇談した。

10 ロイヤル・バンク・オブ・スコットランドに対する制裁

13日、当地紙グランマは、キューバ・イラン・スーダン及びミャンマーと取引を行ったとして、米国がロイヤル・バンク・オブ・スコットランドに1億ドルの罰金を科したと報じた。

11 ディアスカネル第一副議長のベネズエラ訪問

17日、ベネズエラを訪れたディアスカネル国家評議会第一副議長は、カラカスで開催されたALBA・ペトロカリブ臨時首脳会合に出席した。

12 マドゥーロ大統領のキューバ訪問

キューバを訪問したマドゥーロ・ベネズエラ大統領は、21日、フィデル・カストロ前国家評議会議長と会談し、23日には、ラウル・カストロ国家評議会議長と会談した。

13 要人来訪

- (1) フェイホー・ガリシア州（スペイン）知事
- (2) マドゥーロ・ベネズエラ大統領

14 要人往訪

- (1) ロドリゲス外務大臣のアフリカ諸国訪問
- (2) ラウル議長の南ア訪問
- (3) ディアスカネル第一副議長のベネズエラ訪問